



第13号

平成19年5月1日発行

いき 議会だより

三本指のお約束
できるかなあ??

郷ノ浦幼稚園児への交通安全指導
(4月10日)

決議意見書

議会活性化特別委員会設置
吉岐市議会の現況

16P

一般質問

ここが聞きたい!
15人が登壇

8P

議案質疑

もうちつとくわしゅう
診療所の公設民営化

6P

新年度予算

前年比3.9%アップ
どんな事業があるの?

4P

討論

ちょっと待った!!
議会で討論 反対VS賛成

3P

臨時会の概要

月日	会議の種類		平成19年第1回臨時会の概要
2/13(火)	本会議	議案の上程 説明・質疑 討論	一般会計補正予算、簡易水道事業特別会計補正予算、建設工事請負契約の締結、工事請負契約の変更、条例の一部改正の計5件が上程。 議案説明の後、質疑、討論。
		採決	全議案可決。

定例会の概要

月日	会議の種類		平成19年第1回定例会の概要
3/2(金) (初日)	本 会 議	施 政 方 針	市長が新年度の主要施策と予算の基本的な編成方針を説明することを「施政方針」と言います。行財政改革や交流・定住人口拡大などについて説明。
		議 案 の 上 程	報告1件、条例の制定・一部改正・廃止15件、18年度補正予算8件、19年度予算12件、その他11件、計47件、陳情2件、が上程。
		議 案 説 明	47議案について市長（または部・課長）が説明。
3/7(水)	本 会 議	質 疑	避難訓練の実施計画などについて質疑（詳しくは6・7ページに記載）。
委 員 会 付 託		総務文教常任委員会、厚生常任委員会、産業建設常任委員会および予算特別委員会に付託。	
3/8(木)		一 般 質 問	15人が2日間にわたり質問（詳しくは8～15ページに記載）。
3/9(金)			
3/12(月)	常 任 委 員 会	総務文教常任委員会、厚生常任委員会、産業建設常任委員会でそれぞれ審査。	
3/13(火)			
3/15(木)	予 算 特 別 委 員 会		平成18年度一般会計補正予算および平成19年度一般会計予算の審査。
3/20(火) (最終日)	本 会 議	委 員 長 報 告	総務文教常任委員長、厚生常任委員長、産業建設常任委員長、予算特別委員長が報告（詳しくは18・19ページに記載）。
		質 疑	厚生常任委員長に対して質疑あり。
		討 論	平成19年度一般会計予算、三島航路事業特別会計予算、病院事業会計予算について、それぞれ反対討論、賛成討論あり（詳しくは3ページに記載）。
		採 決	条例の一部改正・制定・廃止14件（議案の撤回1件あり）、18年度補正予算8件、19年度予算12件、その他9件（議案の撤回2件あり）、計43件が可決。陳情1件は採択、1件は継続審査。
		追 加 議 案 上 程	工事請負契約の変更1件、人事案件5件（固定資産評価委員会委員の選任4名、教育委員の任命1名）、発議4件（詳しくは16・17ページに記載）、計10件が追加上程。
		質 疑	工事請負契約の変更について質疑あり。
		討 論	長崎県立埋蔵文化財センター及び壱岐市立一支国博物館（仮称）建設に係る要望決議について、反対討論、賛成討論あり（詳しくは3ページに記載）。
		採 決	工事請負契約の変更1件、発議4件が可決。人事案件5件が同意。

ちょっと待った!!

反対

VS 議会 討論

賛成

平成 19 年度吉崎市一般会計予算

反対

財政運営の健全化についての具体的な財政再建計画が、この予算では全く見られないということに対して、あえて危惧の念を表明する思いで反対である。

賛成

財政計画については、予算特別委員会で慎重審議をし、今の段階でこれ以上の考慮すべき点はない。

平成 19 年度吉崎市三島航路事業特別会計予算

反対

①現在のフェリーみしまの運航状況は7人体制（船長3名、機関長3名、臨時職員1名）で、1日の運航が4人体制（3日勤務、2日休み）となっている。

今回の嘱託職員の採用は現船長の退職による補充であり、船長としての運航管理責任が嘱託職員では適正ではない。また、職場内の均衡性も保たれない。

②嘱託職員のあり方、雇用形態に疑問を感じている。市の職員定数条例は正職員だけが対象とはおかしい。嘱託職員の運用について単に賃金が安くて済むから嘱託職員で良いという考え方は、非常にエゴイズム（利己主義）である。

賛成

執行の停滞をさせてはならないし、「嘱託職員を即、正職員にしろ」という執行の権限を侵すようなことも議会として言えないので、産業建設常任委員会として意見（※詳しくは19ページに掲載）を付けて賛成をしている。



フェリーみしま

平成 19 年度吉崎市病院事業会計予算

反対

市民病院は多額の赤字も続き、非常に危惧している。新年度予算には改革をする意志が見受けられないし、経営アドバイザーの意見も反映されていない。平気で多額の赤字を出すような予算を認めるわけにはいかない。

賛成

現状は公的な病院として運営をされており、途中でストップするわけにはいかない。病院の改革も着々と進んでおり、厚生常任委員会でも毎回、市長に対し進言をしている。もうしばらくの猶予を。

長崎県立埋蔵文化財センター及び吉崎市立一支国博物館（仮称）建設にかかる要望決議

吉崎市においては公共事業の減少等により、地元の建設業者の倒産が相次ぎ、雇用の面からも大きな不安を抱えているところであります。また、最近は島外の大手建設業者の入札への参加が目立つようになってきております。今回の原の辻関連の施設については、金額、規模等、島内の建設業者の期待するところは、まことに大きいものがあります。

市当局においては、島内の業者団体等と十分意見を交換され、技術的な問題が解決できるのであれば、できる限り地元業者の育成の観点からも格段の御配慮を賜るべく、長崎県当局に対して強力に交渉されるよう要望するものである。

反対

本来は議会から指摘をされずに、執行部が吉岐の今の経済状態を見られて努力するのが本来の筋である。議会からこのような要望書が出されるのは議会の本来あるべき姿ではなく、昨今言われているような口利きに抵触するのではないかと。議会は執行のチェック機関である。

賛成

市内の雇用面では、建設業者の方の貢献度は非常に高い。しかし、公共事業が減少して、経営状態も悪く、人を雇用したくても雇用できないような危機的状況にある。吉岐の業者でできるものは吉岐の業者を使っていただきたい。これは執行権の侵害ではなく、要望である。

予算ピックアップ 事業があると?

3.9%アップ 219.1億円

動き始めた廃棄物処理施設整備 計画 7,965万円

一般廃棄物処理施設予定地の環境アセスメン
ト・測量・地質調査委託

公営住宅建設

3億9,383万円

寺頭(勝本)・白水(石田)団地新築工事ほか

4.1%アップ 358.3億円

カッティングロールペーラ、 トラクター購入

1,155万円

配水設備改良工事

7,110万円

市でパスポート発行事務開始

92万円

県より取扱事務の移行



パスポート交付申請窓口(郷ノ浦庁舎2階)

生かせ、土着菌！ 330万円

家畜糞などの有機性廃棄物を分解・堆肥化(資
源循環システム)



土着菌を活用されている川上新司さん

志原・柳田保育所で預かり保育 実施 799万円

4月より試行的に午後3時～6時まで預かり
保育実施



みんなでこいのぼりつくったよ！(柳田保育所)

定住奨励金の支給年齢拡大 947万円

満65歳未満で5年間以上定住できるIターン者を対象に支給
支給年齢を満50歳未満から満65歳未満に引き上げ(4月1日から)



Iターンで壱岐市へ定住された野中紋美さん

イルカパークへ仲間入り 1,016万円

イルカ購入(2頭)・イルカパーク整備



新しく仲間入りした2頭のイルカ

つくり育てる漁業へ 3億4,009万円

壱岐地域栽培漁業センター建設(アワビ・アカウニ・カサゴ生産)



壱岐地域栽培漁業センター(仮称)完成予想図

平成19年度 どんな

一般会計 前年比

公共施設に“光” 5億1,500万円

主要公共施設間の通信用超高速線(光ケーブル)接続

一支国博物館(仮称)整備 12億2,375万円

一支国博物館(建築・展示工事等)業務委託

特別会計 前年比

沼津・柳田地区、八幡・諸吉地区 水道施設整備

2億4,536万円

污水管布設(亀川迎町、本町、下 ル町)・漁業集落排水施設整備

8億4,536万円



教職員住宅の改修・利活用を（鯨伏幼稚園横）

国民保護計画

Q 訓練の実施計画は？

A 平成十九年度に避難実施マニュアルを作成。

平成二十年度以降に全国瞬時警報システムの整備。その後、訓練の実施。

Q 避難住民の誘導時、避難場所の表示は？

A 地域防災計画上の避難指定場所と国民保護計画上の避難場所と合わせて表示する。

教職員住宅

Q 戸数と入居戸数および築何年か？また、使用料と今後の対応は？

A 七カ所で四十戸。二十三戸が入居。十七戸が空室。三十年から三十五年経過。八千円から一万四千五百円。改修計画は利用等考慮し進めていく必要があるのか検討する。

返還金・過誤納付金

Q 登記・入力ミス等、絶対にあつてはならないことである。他の分に対しては信用できない。当時の職員は処分すべき。

A 職員は退職している。税の公平は原則であり行政の役目である。今後、十分注意する。

農業機械銀行

Q 減価償却金の将来見

A 込みと計画は？

A 機械の更新の財源に充てるため、順次年間三千万円程度積み立てる必要があるが、収入との兼ね合いで、できていない。

Q 機械台数、稼働日数等詳細に分析して効率的な予算配分を。

A 市内一円何処でも対応できるシステム。旧町にあった分を集約しているが倉庫は一カ所に集約

できないため、旧町の倉庫を使用。近くにある機械を効率よく回している。

廃棄物処理施設整備

Q 地元との交渉状況と今後の総予算規模は？

A 住吉地区公民館・住吉地区振興協議会との間で環境保全協定書を締結した。平成十九年度に環境影響調査。平成二十年度に環境衛生調査報告書の作成、焼却施設リサイクルセンター最終処分場の整備計画。平成二十一年度は普辺クリーンセンターの解体撤去。平成二十二年年度から敷地造成工事に着手、平成二十三年に完成予定。坪地区とは環境保全協定書を締結している。近隣の若松地区、放流管が出ている郷ノ浦地区はご理解頂くよう、説明会を行っている。総事業費は焼却施設が四十

七億円。し尿・汚泥処理施設が三十四億円。八十二億円のうち二十四億円は補助金。五十八億円は起債（合併特例債）。

生活扶助費

Q 二億五千八百万円と住宅扶助費二千七百六十万円の内訳は？

A 五百九十五人で三十五十四世帯。家族の人数に関係なく、一軒家や間借りの場合、家賃が上限二万八千円。

補助金関連

Q 平成二十年までに平成十七年度から二〇％縮減ということだがどのくらい縮減されたのか？

Q 事業総額五億一千五百万円に対し、国庫負担金は一億六千六百六十六万円であるが、残りの財源はどうなっているか？どのような費用対効果が

地域イントラネット基盤施設整備

A 十九年度補助金の総額は十六億二千万円。前年比四・五％の増であるが、国・県補助事業分の増加、新規事業分の増加によるものである。これを除くと約七千八百万円。五・一％の減。負担金は一〇％の減。



農業機械銀行（郷ノ浦町柳田触）

くわしゅう



日本子守唄フォーラム2007 in 岐阜の宣伝ポスター

二十一世紀まちづくり推進総合支援事業

Q 子守唄フォーラム補

あるのか？
A 財源は、起債・過疎債を予定している。費用対効果は、「学校の情報通信環境の格差解消」「戸籍システム等の通信速度改善」「ネットワークの拡充をするのに、通信料の増額がない」「市の電話通信管理を一括管理できる」「テレビ会議システムの導入」「公共施設同士の通話や学校、市役所等々の通話等が無料となる」などである。

助金二百二十七万円は新規事業である。県の補助金も五百万円程度ある。他の新規事業は二十万円程度でも受け付けてもらえない。必要性があるのか？また、どれだけ費用対効果があるのか？県の補助金だけでもできるのではないのか？

A 全国的な組織があり、日本国中の悲惨な子どもの事件を鑑み、子守唄を通して親と子のスキンシップや絆を大事にしている。こうということで計画されている。島外より約六百人の参加を見込んである。市の補助金を出さな

議案質疑

もうちょっと

勝本・湯本診療所の公設民営化

Q 貴重な岐阜北部病院である。平成十七年度までは黒字経営であった。今年度の見込みと今後の見通しは？

A 医療制度改正があり、医療収入が八％減少。単年度で一千万円超の赤字

いと県の補助金もない。

病院事業特別会計

Q 市民病院の平成十九年度の赤字は三億三千九百万円の見込みであるが、一般会計繰り出し金を入れると六億円超となる。赤字予算を立てるのが当然のようになっていて。市長はどのように考えているのか？

A 厳密な計画・内部調査・職員教育をし、三年をめどに経営改善委員会、市山アドバイザーと共に改善をしていく。今は土台づくりを行っている。

が出る。診療所は患者を待つだけでなく、医師会・他の医療機関と連携して高齢化社会に対応すべく、往診を含めた訪問診療、地域医療の確保、地域完結医療を目指す役割が課される。一日でも長く診療所を存続させるために民営化とした。

岐阜市の財政状況

	岐阜市				長崎県平均	全国平均	数値の見方
	15年度	16年度	17年度	18年度	17年度	17年度	
財政力指数	0.20	0.22	0.23	0.25	0.36	0.52	指数が高いほど財政に余裕があるといえる。指数が1を上回ると普通交付税の不交付団体となる。
経常収支比率	85.4%	87.0%	89.4%	—	92.3%	90.2%	比率が低いほど財政の弾力性が大きいことを示し、一般的に80%を超えると財政の弾力性を失いつつあるといわれる。
実質公債費比率	8.7%	12.5%	11.2%	10.8%	14.2%	14.8%	18%以上で起債に当たり許可が必要となり、25%を超えると単独事業の起債が認められなくなり、起債制限団体となる。



平山医師とスタッフのみなさん

一般質問

町田 正一 議員



Q 財政再建

一般会計は、債務残二百七十七億円、特別会計を含めて三百八十六億円にも上る。また、今後ゴミ関連で八十億円、博物館他で市の財政状況は悪

化する一方である。市は直ちに財政の非常事態を宣言し、人件費の削減も含めて経常経費の改善に取り組むべき。

財政再建団体※には絶対にしてはならない。

A 長田市長

今ここではつきりと非常事態宣言をすることはできない。自主財源に乏しく、依存財源に頼っている中で、地方交付税は見直しがなされ、合併の特例期間が終わる頃には約二十七億円の減額が予想される。徹底した行財政改革と自主財源の確保が必要である。市民にも現状を伝え、意識改革をして頂くよう努力する。

Q 市単独事業の計画的発注

昨年続いた島内の地場建設業者の倒産に伴う失

業者は、現在市の建設業者に十五〜二十名規模で一時的に雇用されている状況である。三月までは仕事量も確保されているが、四月以降の状況が不透明のため、引き続きの雇用が困難である。市単独事業の計画的早期の発注をすべきである。

A 長田市長

地域経済の均衡を図ることは大事である。市単独事業等は早期発注をし、年間を通して、受注の機会が得られるよう努力する。

※市町村などの地方自治体が財政赤字に陥った場合、国から「財政再建団体」の指定を受けて、赤字の解消を行う地方公共団体のこと。

久間 初子 議員



Q スタンプで活性化を

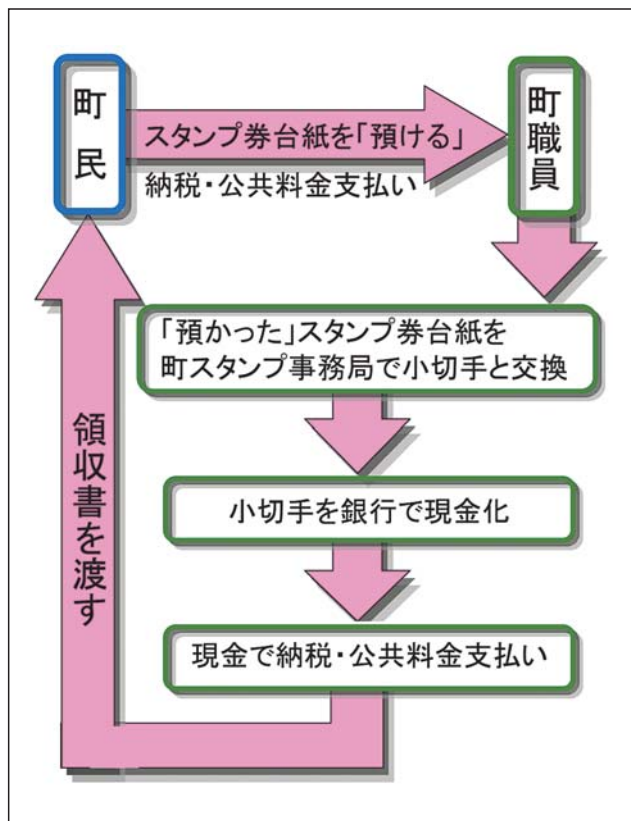
各商店街で独自のスタンプが発行され、街の活性化のためスタンプ台紙一冊で五百円分の買い物

ができるシステムになっている。このスタンプ台紙を税等、公共料金の支払いに充てることはできないか。そうすれば納税の向上、滞納の減少、商店街活性化、スタンプ会加盟店の増大にもつながる。ぜひ実施を。

A 長田市長

良いアイデアではあるが、スタンプは商店街の

活性化のため、スタンプによって、再度買い物をしてもらうのが大前提である。商工会の趣旨に反した使い方となることや、市もどのように受け入れられるかが課題。商工会のスタンプ会加盟店が増え活性化に繋がり、住民の納税にも役に立つようであれば検討する。



スタンプ券台紙を活用した納税・公共料金支払いイメージ (福島県矢祭町)

今西 菊乃 議員



所担当部局と協議する。認定子ども園は、県の指導や先進地事例を参考に研究する。

Q 子育て支援

①三歳になれば友達を必要とする。保育所に受け入れられない三歳児は、幼稚園で受け入れを。認定子ども園の構想は。②^{へきち}僻地保育所の職員は嘱託職員のみである。正規職員の配置が必要では。

A 須藤教育長

①子どものために一番良

A 長田市長

②僻地保育所は預かり保育も始まるので、職員の配置調整を行う。

Q 環境問題

①土着菌[※]の研究をしているが、進捗状況とその活用方法は。②魚介類の残渣・事業所の生ゴミの堆肥化をし、焼却場の規模の見直しを。

A 長田市長

①牛の堆肥舎の悪臭改善等の環境衛生に良く、敷料費の低減が図られ、土づくりにも活用できる。②堆肥は生ゴミと魚の残渣を含めた形が理想。事

業所・市民の意識改革に取り組んで行く。

Q 交流人口対策

①団塊の世代受け入れ対策はどこでも取り組んでおり、その対応は困難である。民間との協力体制および公共施設の使用についての将来の構想は。②島外で子育てに悩む母と子（小・中学生）の受け入れを。

A 長田市長

温泉や保健保養施設を利用して、島全体を元気回復センターとする「健康の島ブランド」を確立させることが、一つの手段と考える。行政と市民・各関係団体が協働で、ネットワークの構築を図り、情報交換が必要。

※表層土壌に昔から住んでいる微生物のこと。

音嶋 正吾 議員



Q 施政方針

①平成十九年度予算編成で従来の方法を見直したとあるが、具体的事例を示して説明を。

Q 生ゴミの分別を

①一般廃棄物処理施設整備検討委員会の答申書を基に、廃棄物処分場建設計画がいよいよ本格的に動き出した。生ゴミの分別強化を実施すれば、施設をコンパクトにすることが可能では。

A 長田市長

②生ゴミ削減の実施のため、市民へ生ゴミ分別の周知徹底強化策は。

A 長田市長

①廃棄物処分場計画は喫緊^{きん}の課題である。検討委員会の最終答申を基に進めている。生ゴミは減量化すべきであり、今後、堆肥化に向けて取り組む。

A 小山田保健環境部長

②広報等により環境教育にも力を入れていく。子どもはよく守ってくれるが大人が守らない。環境については啓発以外にない。

※差し迫って重要なこと。

★国道沿いの花壇への利用（聖和女子学院）（佐世保市） 生ごみリサイクル花壇で道路ボランティア



国土交通省の協力により道路沿いの植えこみで生ごみリサイクル土作りを行い、花を育てています。
生ごみは土へ戻そう！
学生寮から毎日7～8kg出る生ごみを1年分全て、土に返すことができました！！

長崎県発行の生ごみリサイクルに関する資料（抜粋）

市山 繁 議員



日であり、まずは任期をいかに全うするかを考えている。今後とも中長期的な視点から、活気あるまちづくりに取り組んでいく。

Q 次期市長選 出馬表明

合併初代市長に就任以來三年、山積する諸問題に取り組まれたが、今年は任期の最終年度である。施政方針の意義を発揮するためにも、いち早く意思表明を。

A 長田市長

市政に対する挑戦の毎

Q 公約の方向転換

公約である島内消費燃料の件では、物理的と現吉岐油槽所建設との経緯があり、無理。市民のため、離島のハンディを克服できる方策への転換を。

A 長田市長

公約は自分の信念で掲げたものであり、そう簡単に転換はできない。

Q 計画変更に関する異議あり

建設計画は予算と工期が伴うものであり、議会に提案、承認された後、議員は承認した予算の執

行には監督と責任がある。にも関わらず、無断での計画変更は議会軽視である。

A 長田市長

経費削減のため、急遽設計変更に取り組んだ。議会への十分な協議を怠ったことはおわびする。

Q 副市長二人制の必要性

十二月議会で条例改正され、副市長一名としたが、内務・外務役として、より充実される行政を。

A 長田市長

現在の財政状況を鑑みた時、副市長は一人が適正。今後、二人の必要があると判断された場合にはその時点で提案する。

田原 輝男 議員



Q 炭疽病対策

①近年、イチゴに大きな被害が出ており、作付けができなかった農家もある。炭疽病対策は全国で様々な予防対策が行われ

A 長田市長

ているが、今後の対策は。②全国各地の農業改良普及センターでも、水質には十分注意を払うよう指導されているが、農業用水には問題はないのか。

Q 市体育協会の運営

①県下一周駅伝については今年から増員となっているが、その対策は。②平成二十六年開催の長崎国体に向けた誘致の取り組みは。

A 長田市長

①市のスポーツ振興に寄与している市体育協会の評価は高いが、市の厳しい財政を理解頂き、限られた補助金を有効に活用し、最大限の効果を上げて頂きたい。②競技開催の候補地として手を挙げている。市の活性化および健全育成の面からも期待している。



県下一周駅伝大会（2月16日）

肥培・冠水管理、農業による適期防除など総合的な育苗技術が必要。②農業用水は管理組合が管理しているが、今後とも農協および指導機関と連携

※病原菌によって起こる病害で、野菜類や果樹類の葉、茎、枝、果実などに病斑を生じ、組織のえ死、腐敗や乾枯などが起こる。



新築予定の寺頭住宅と建設予定地（勝本町仲触）

鵜瀬 和博 議員



Q 市営住宅が足りない

島内経済情勢が厳しいため市営住宅への希望者が年々増加傾向にある。特に若い世代には大変深刻な問題。定住促進のた

めにも市営住宅の拡充を。

- ① 市民の多様化するニーズや少子高齢化等に対応するため旧四町のままの計画ではなく、新たに策定すべき。今後の計画は。
- ② 市営住宅供給数が足りない。教員住宅等の活用や民間借上げや家賃助成等創意工夫した対策を。
- ③ 特別な場合を除き、独身者は入居出来ない。独身用住宅を設置するか入居条件の規制緩和を。
- ④ 公正、公平性のため入居者選考を本人による公開抽選にしては。

- ⑤ 売却可能な住宅は入居者の居住の安定に配慮し、棟入居者の全同意が得られれば払い下げては。



長田市長

- ① 国の地域住宅交

付金事業に沿い推進しており、平成十九年は寺頭、白水団地建設、上町団地の地質調査・設計、大久保団地改修、平成二十年は上町、白水団地建設、大久保団地の地質調査・設計、古城、小崎団地の改修、平成二十一年は寺頭、大久保団地建設、古城、八幡団地改修。平成二十二年度以降は市の住宅マスタープランを見直す。

- ② 民間資源の活用を含め、地域優良賃貸住宅制度等研究する。今後、教職員住宅等有効利用する。
- ③ 独身用住宅建設、入居条件緩和は公営住宅法との関係で現在考えはない。
- ④ 現在、住宅の困窮度合いにより選考決定し、困窮順位が定めがたいときは公開抽選も可能。
- ⑤ 払い下げの方向で研究する。

中村出征雄 議員



Q 市民病院の経営と対策

- ① 平成十七年度決算をどのように考えるか。平成十九年度予算三億三千九百万円の赤字予算計上。累積赤字は十六億三千万円の見込みである。
- ② 上五島病院と比較し、どのように考えるか。

A 長田市長

- ③ 人件費を含めた抜本的改革が必要では。
- ④ 長崎県離島医療圏組合の九病院中、四病院は黒字経営。全体の十七年度赤字額は一億三千八百七十七万円。加入決断の時期では。



長田市長

Q 市民病院行きバス路線

- ① 大変厳しい状況で十九年度が正念場であるとして十分に認識し、経営改善のスピードアップを図る。赤字解消に向け、アドバイザーの助言・指導等を受け、院長陣頭の下、各種ワーキンググループが活動を開始し、病院全体の体制ができて、手応えを感じている。
- ② 上五島病院の経営は非常に素晴らしい。議員の指摘通りだが、利用者の同意、財政上のこともあるので、今後協議する。



長田市長

- ③ 勝本・石田・沼津方面は非常に不便で、患者減少の大きな要因。石田方面は、未認可路線で公安委員会の許可が前提、その後変更申請。勝本・沼津線は路線変更のみで可能。新規不採算路線でも市が補助をすれば、陸運局は認可可能。



市民病院行きバス

倉元 強弘 議員



広島に投下された原子爆弾の百万発分もの非常に高い放射性の廃棄物処分場の計画が報道されている。この問題が実現すると、風評被害が生じることは間違いない。市長の考えは。

Q 対馬の高レベル放射性廃棄物

杵岐と対馬の距離は五十kmしか離れていない。その中間地点に、大事な漁場の七里ヶ曾根がある。

A 長田市長

長崎県は広島県に次ぐ世界唯一の被爆県であり、核についての県民感情は



芦辺港ターミナルビル

Q 芦辺港ターミナル

監査委員より、供用開始以来、その機能が十分に発揮されていないと指摘がなされているが、その内容と対策は。

A 長田市長

現在、二つに分かれているフェリーとジェットfoil乗り場を、新ターミナルビルに一元化できていない点で指摘があった。今後とも県・九州郵船株・砂関係者と十分協議を重ね、計画に沿った利用形態に向け、努力する。

豊坂 敏文 議員



正な執行をしているか比較できるように改善を。

A 長田市長

今後、議会と執行部の打ち合わせを十分にします。

Q 予算議案の明確説明を

新規・継続事業等、政策内容は補足資料も配付し、分かりやすくすべき。決算議案についても、適

Q 税賦課は平等に

国土調査事業が旧四町ごとに年次が相違するので、全市完了してから本則課税すべき。旧町ごと

A 長田市長

合併時に調整済と思うが、後日調査し報告する。

Q 県立理蔵文化財センター・市立一支国博物館の屋上緑化等

- ① 芝生で良いのか。
- ② 瓦、銅板資材の活用は。
- ③ 維持管理の比較は。
- ④ 地滑り地帯の地盤対策は。

A 長田市長

- ① 実証検査をする。
- ②、③ 調査中。
- ④ 地質のボーリング調査、基礎面の掘削状況確認や載荷試験を実施し、強度確保に努力する。



屋上緑化の植栽実験開始
(H19.3.23 原の辻展示館前)

近藤 団一 議員



Q 電線の地中化

勝本浦地区を対象として実行段階に入ったが、併せて電線の地中化も視野に入れ、将来的に検討すべき。電柱・電線は一つの景観阻害要因。施設設置者の件もあり、さまざま解決できる問題ではないが、歴史を活かす癒しの島のイメージから見て、四町中

心市街地も、観光振興の面から避けて通れない。

A 長田市長

観光立島を目指す中では、各関係機関と連携をとりながら、逐次取り組むべきだが、種々の課題もあり、検討中。

Q ゴミのポイ捨て

一向に減る気配がないし、一部悪質化している。市民の一部のモラル低下を改善するため、期間を区切ってキャンペーンをしては。

A 長田市長

期間を決めてのキャンペーンは大事な打開策としたい。

A 小山田保健環境部長

啓蒙施策は「啓発」「監

電線が張り巡らされた勝本浦の街なみ

視「行動」。啓発は、ゴミを捨てない意識、マナーを身に付けること。具体的に

は、ポスター・標語・作文の募集を行う。監視は各種団体の協力・情報・通報の提供の呼びかけ。行動は、「島内一斉清掃」「環境美化月間」「3R※推進月間」等の取り組み。

Q 開票作業時間短縮

有権者のニーズ、経費の節減の面から地方選に向け、できるところから改革を。今後の対策は。

A 長田市長

四月の県議会議員選挙から実施するように準備中。

※Reduce（リデュース：ごみを減らす）、Reuse（リユース：ごみを再使用する）、Recycle（リサイクル：ごみの再資源化）の頭文字をとったもの。

中田 恭一 議員



Q 職員給与のカットを！

職員の人員削減と併せて賃金のカットと職員駐車場の有料化をし、両者の財源を目的税としては。

A 長田市長

総人件費抑制の手段として、期限付きの給与カットと比較した場合、恒常的な人件費の抑制として、

職員削減の方が有効と判断し、大幅削減に取り組む。

駐車場は借地もあり、賃借料等の財源確保も含め検討したい。目的税とすることはできないが、事業総額の一部として確保し、予算に増額することは可能。

Q 工事入札および工期

①入札の不落※¹が多い。その理由は。
②繰越明許費※²が多い。早期入札の努力を。

A 長田市長

①現場の条件・指名業者の工事量などの状況で不落となり、業者の組み替え・処分地の確保の説明により発注した。
②今後、発注基準等を見直し、適正な公共事業の推進を図る。

Q 消防施設の整備

防火水槽の自動給水装置の早期設置を。それができないのなら、近くに消火栓の設置を。

A 長田市長

地域防災活動に支障がないよう、万全な体制をつくるため検討する。

Q 企業誘致を

現在、誘致予定のコーセルセンターの内容は。竜岐に合った企業の誘致に努力を。

A 長田市長

消費者と企業との電話による窓口代行業である。現在、竜岐の特性を生かすような企業誘致を準備中。

※¹最低入札金額が予定価格を超過したため、落札者がいない場合。
※²翌年度に繰り越して使用する経費。



職員駐車場（旧観光会館跡地）

大久保洪昭 議員



Q (仮称) 吉岐栽培 センター建設

①本年度着工のセンター運営費は、当初、十億円の基金の運用益を予定されていたが、現在、途中で止まっている。その理由と今後の見込みは。

②全国的にアワビ稚貝の放流は大型化を目指している。四cm、四・五cmも出回るようになってきている。本市は三cmを六十万個生産することだが、今後は大型化すべき。

③竹の浦中間育成施設の事業継続を。

A 長田市長

①平成十年から十四年まで、四年間で八億円積み立て、その時点での預金の利息が下がり、

長崎県出資団体あり
方検討委員会の提言により中断した。

地域栽培漁業推進基金支援事業で定着の
高い(アワビ・赤ウニ・カサゴ・カレイ)の放流経費の四〇%を運営費として県が支援している。
②稚貝の大型化は、

放流するまでに今の経費の三倍程度がかかるので計画していない。

③廃止の方向と考えているが、吉岐地域栽培推進協議会で協議中。

Q 水産振興基本計画策定

漁業振興長期計画は、

十分な時間とゆとりをもつて策定すべき。基本計画の参考として実施された市民アンケートに漁協合併、海砂採取等は入っていない。

A 長田市長

振興基本計画策定委員会の開催が遅くなり、関係者の皆様にはご迷惑をかけた。吉岐の漁業では、海の資源(海砂)・漁協の統合は大きな課題である。

深見 義輝 議員



Q 観光振興

このことは一つの歴史的な出来事から始まり、現在まで取り組まれてい

A 長田市長

「兵庫県旧和田山町」と歴史文化を通じて、産業物産により交流が深められてきた。平成十七年四月に旧和田山町と三町が合併し、「朝来市」となり、交流範囲がより深まった。今後は友好姉妹都市を締結し、交流人口の拡大を図るべき。

Q 学校教育

現在、人としての心豊かさ、失われつつある。以前は、地域の様々な伝統文化活動の中で養われてきた。今後、郷土を愛する心を育むため、学校教育の課程で学ばせて、人間関係を築く厳しさを、知るためにも、心豊かな教育を見直すべき。

A 須藤教育長

現時点では、小学校で十三校、中学校で九校が取り組んでおり、独自の学校行事で吉岐の太鼓・神楽など、伝統芸能を学んでいる。歴史文化に着目するという素晴らしい成果が徐々に現れている。今後、市内全小中学校で取り組む。



但馬 食文化まつり 2006 (10月28日 朝来市和田山町)

旧芦辺町でも、旧和田山町とは深いつながりがあったと聞いている。相手方も合併して市となり、対応が心配だが、姉妹都市提携を投げかけてみたい。



入学おめでとう！（初山中学校の新入生）

瀬戸口和幸 議員



Q 財政の健全化

経常収支比率※が平成十五年からの二年で四％上昇、平成十七年は八九・四％。正常値が八〇％以下という今、財政健全化のため、人件費（人・給与額）を削減し、歳入増のため、税金等の収納率と未収金の徴収率

①平成十七年六月議会から取り上げられているが、未だに目立った進展が見られない。統廃合には実質的にいつ着手し、完了するのか。担当する職員は兼務でなく、教育長直轄のチームで早期に本格的に

Q 中学校の統廃合問題

①平成十七年六月議会から取り上げられているが、未だに目立った進展が見られない。統廃合には実質的にいつ着手し、完了する

のアップを図るべき。

A 長田市長

機構改革により、住民サービスの低下を招かないように適正配置を行い、百名を削減する。

A 須藤教育長

推進すべき。
②市長の見解は。

A 長田市長

②手順を踏むことは大事だが、スピードアップをした方が良い。

※税などの一般財源を、人件費や扶助費、公債費（借入金の返済のこと）など経常的に支出する経費にどれくらい充当しているかを示す指標。（※詳しくは7ページに記載）

市民の声



今回、市民の方から議員定数に関するご意見を議会に頂きました。貴重なご意見として、議会活性化特別委員会へ送付し、対応をお願いしたところです。

今後、議会にご意見等を頂いた場合は、氏名と連絡先を明記された方のみ「市民の声」として議会だよりに掲載させて頂きまします。よろしく願います。また、掲載時の匿名希望については対応いたします。

みなさまのご意見・ご提案をお待ちしています。

議会広報特別委員会

市へご意見・ご提案を出される場合は、各四庁舎、各出張所（湯本・那賀・箱崎）、各事務所（渡良・柳田・沼津・志原・初山）、市民病院、かたばる病院の計十四ヶ所に『志岐市希望の箱』と用紙が設置されていますので、ご利用下さい。



ご意見・ご提案をお待ちしています！（勝本庁舎）

決議・意見書

可
決

議会活性化特別委員会の設置に関する決議

○提出者 吉崎市議会議員 小金丸 益明

○賛成者 吉崎市議会議員 坂本 拓史
同 上 町田 光浩

<委員名>

委員長 小金丸益明 副委員長 坂本拓史
委員 音嶋正吾 町田光浩 町田正一 市山和幸 豊坂敏文 坂口健好志
中村出征雄 鶴瀬和博 牧永護 赤木英機 小園寛昭

<主旨(目的)>

吉崎市議会の活性化に関する調査



吉崎市議会の現況

議員報酬及び費用弁償等

	報酬月額	期末手当	費用弁償	政務調査費
議 会 議 長	380,000 円	加算割合	支給なし	支給なし
議 会 副 議 長	330,000 円	115/100	当市議会では、議員が委員会に出席した場合の交通費として1日につき3,000円(委員長は3,500円)を支給していたが、平成17年10月1日より廃止した。	議員の調査研究に資するため、必要な経費として会派(または議員)に対して交付することができる金銭的給付のこと。当市議会では当初から支給されていない。
議会常任委員長	315,000 円	6 月 160/100		
議会運営委員長	315,000 円	12 月 175/100		
議 会 議 員	300,000 円	計 335/100		

委員会の構成

(平成18年1月～平成18年12月)

委 員 会 名	構成人数	所 管 事 項	開催状況
議 会 運 営 委 員 会 (任 期 4 年)	6 人	会期、日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	12 回
総務文教常任委員会(任期4年)	9 人	総務部、消防本部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事務	7 回
厚生常任委員会(任期4年)	8 人	市民部、保健環境部、市民病院及びかたばる病院の所管に属する事務	10 回
産業建設常任委員会(任期4年)	8 人	産業経済部、建設部及び農業委員会の所管に属する事務	6 回
一支国博物館(仮称)建設等に関する調査特別委員会(H18.3.24 設置)	10 人	一支国博物館(仮称)建設並びに原の辻遺跡の保存整備に関する調査	6 回
議会広報特別委員会(H17.8.17 設置)	6 人	議会だよりの発行(市のホームページに掲載)	17 回
予 算 特 別 委 員 会	10 人	一般会計(補正予算を含む)について定例会毎に設置	5 回
決 算 特 別 委 員 会	10 人	一般会計決算認定に付された時点で設置	2 回

核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結促進を求める意見書

○提出者 彦岐市議会議員 町田 光浩

○賛成者 彦岐市議会議員 坂本 拓史
同 上 鵜瀬 和博

(要旨)

2005年5月、国連本部で開催された核不拡散条約再検討会議は、「核兵器廃絶にむけた核保有国の明確な約束」を初めて盛り込んだ最終文書が、核保有国を含む全会一致で採択した。よって政府は、国連が最初の総会で核兵器廃絶の第1号決議を採択してから60周年にあたり、唯一の被爆国として、核兵器の使用、実験、研究、開発、生産、配備などの一切を禁止する「核兵器全面禁止・廃絶国際条約」を一日も早く締結するよう、関係諸国に対し格段のご尽力をされることを強く要請する。



(提出先) 内閣総理大臣、外務大臣

医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書

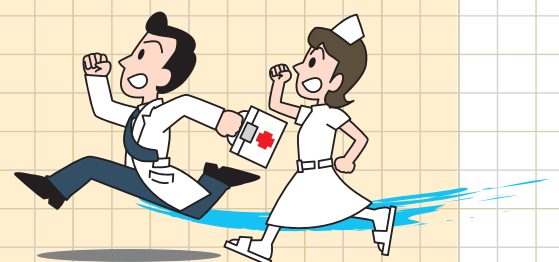
○提出者 彦岐市議会議員 市山 和幸

○賛成者 彦岐市議会議員 町田 正一
同 上 近藤 団一

(要旨)

1. 地域医療の再構築に向けて、総合的なビジョンを早急に策定すること。
2. 救急医療体制の整備・維持、周産期医療体制の整備・維持のための支援策の拡充を図ること。
3. 小児科医療等の医師不足が指摘される科目の診療報酬の抜本的な見直しを図ること。
4. 公的病院の診療体制の強化を図るため集約化への取り組みの支援策を拡充すること、また中核病院と地域医療機関の連携を強化するための対策を講じること。
5. 臨床研修制度のあり方について検討を行い、前期・後期臨床研修において、地域医療への従事が適切に確保できるよう取り組みを進めること。
6. 医科系大学の定員における地域枠の拡大を図るとともに、奨学金制度の充実など地元への定着を進めるため施策の充実を図ること。
7. 院内保育の確保や女性医師バンクの充実など女性医師の仕事と生活の両立を図るための支援策を充実すること。
8. 看護師、助産師の不足に対して積極的な対策を講じること。
9. 小児救急の電話相談事業の充実のための対策を講じること。
10. 出産・分娩に係る無過失補償制度の早期の創設を図ること。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、
厚生労働大臣、総務大臣、文部科学大臣



委員会レポート



予算特別委員会

審査報告

委員長 今西 菊乃

予算特別委員会は、定例会毎に設置され、副議長と各常任委員会から三名ずつ、議長の指名により選出され、十名の委員により、一般会計（補正）予算について審査を行っている。

審査の過程で出された主な質疑は次のとおり。

平成十八年度一般会計補正予算

- ①歳入は多め、歳出は少なめの予算計上
が、年度末に多くの過不足を生じさせる原因である。
- ②繰越明許費が多いのは、用地交渉・地元協議ができていないばかりが原因ではなく、事業が一時期に集中したため、残業をしても事務処理ができなかったためである。適材適所の職員配置をすべき。継続事業は早期に出すべき。
- ③嘱託職員の待遇について、正規職員は定数条例があるが、嘱託職員の雇用は条例がないため限りなく雇用できている。嘱託職員を増やす分、正規職員は減らすべき。

違法ではないのか。

平成十九年度一般会計予算

- ①歳入の確保を主に、前年度と比較して一般財源の枠を決め、それぞれの機能を果たすように配分を見直しているというが、前年度との比較が主ではなく、どのような政策のもとに組まれた予算であるのかが主である。政策が見えてこない。
- ②市民の要望に対しては、よく調査し、経営として成り立っているのか、どの程度の費用対効果があるのかを精査して、できないことは市民へ説明をして理解してもらうべき。
- ③廃棄物処理施設整備事業に関しての委託料は、入札方法をよく考慮して高額にならないように。
- ④原の辻関連事業は県主導になると高額になり、市の負担も増える。
屋上緑化等、よく県と協議しなければならぬ。委託料が高額になると建設費も関連して高くなる。
- ⑤市民病院への繰り出し金は、公営企業会計の繰り出し基準に基づき、財政との協議のもとに決定されている。運営に関しては、アドバイザーと共に三年をめぐりに計画を立てて取り組む。



総務文教常任委員会

審査報告

委員長 中田 恭一

当委員会は、市の行政組織の総務部、消防本部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事務について審査、調査を行っている。

三月定例会では、条例制定議案二件、条例改正議案五件、陳情二件、その他四件の付託を受け審査を行った。

①地方自治法の改正に基づき既存の条例の一部改正が主なものだが、新たに条例制定があった。

今まで物品（事務用機器、情報処理機器、公用車）のリース・保守に関する契約及び施設の維持管理・保守に関する契約は、会計年度の当初に一年間のリース・保守契約を締結していた。

しかし、地方自治法の改正により条例を制定すれば五年以内の長期継続契約が締結でき、今後、契約更新事務手続きが省力化されることになった。意見として新規契約は入札を実施するよう指摘があった。

②県の権限移譲により、パスポートの交付申請が十九年度から市役所（郷ノ浦庁舎）で可能となった。申請後、九日から十日間程度で交付される。市民の利便性の向上を図るため郷ノ浦庁舎だけでなく、他の庁舎でも交付申請できないかなどの意見も出たが、人的配置、財政上の課題があり、今後検討するとの回答だった。

③市体育施設の使用料について同様の施設でありながら金額が統一されていないため、今後調整、統一をするとの回答だった。



石田スポーツセンターを調査（H19.4.13）

厚生常任委員会

審査報告

委員長 近藤 団一

当委員会は、特別養護老人ホーム・病院事業・国民健康保険・介護保険・老人保健・ごみ・し尿・保育所などについて審査・調査を行っている。三月定例会では十七件の付託を受け審査した。

市民の安全・安心に直結した部分で毎回活発な議論が交わされる。

付帯意見(要約)

① **特別養護老人ホーム事業特別会計予算**において、積立金が前年より一千六百三十一万三千円増額されているが、施設の移転建設に向けての具体的取り組みが示されていない。施設の老朽化はもちろん、災害等の避難も考慮すれば、水害の危険度も高いあの場所からの移転建設は喫緊の課題と思われる。このことは平成十七年十二月の委員会報告の付帯意見から毎回のよう指摘しているところであるが、真摯に取り組む姿勢が一向に見られない。こういう状況は議会軽視、市民をなおざりにした市政と取られても仕方ないのではないか。現在待機者も多数おり、養護老人ホームにも予備軍といわれる人もいと聞く。以上のようなことに鑑み、早急に検討され、次期定例会において、建設計画への道筋を示されるよう強く要望する。

② **病院事業会計予算**については昨年に引き続き

赤字予算で今年度末の累積は十六億二千万円となっている。このことについては早急に改善策が見当たる状況にないことは我々も認める所であるが、中期的にでも累積赤字に対する取り組みを考えて頂きたい。幸いに経営改善委員会も機能し、経営アドバイザーの招聘もできたわけで、後はその指導・助言をいかに活かしていくかだろうと思われる。「患者優先、市民に信頼される病院」の構築に向けて、期限を定めた早急な取り組みを要望する。また、「病院事業審議会」についても、もっと開催の回数を増やしてはという意見もあり、「経営改善委員会」と連携が取れるような態勢で深い議論がされるよう希望したい。



特別養護老人ホームを調査 (H18.6.21)

産業建設常任委員会

審査報告

委員長 赤木 英機

当委員会は、建設部、産業経済部および農業委員会の所管に関する事務について審査・調査を行っている。三月定例会では、農業機械銀行条例・市営ターミナルビル条例の一部改正や、簡易水道事業、下水道事業、水道事業、三島航路事業、農業機械銀行、芦辺港ターミナルビル事業等の特別会計予算等、計十四件の付託を受け、審査した。

待する。
三島航路事業特別会計予算において、「フェリーみしま」は、平成十九年四月一日から正規職員二名、嘱託職員一名の三名の船長により、交代で運航される計画であるが、船長は乗客の生命を預かる最も重要な責務を負うので、その身分については慎重に配慮されるよう要望する。

付帯意見(要約)

① **特別会計予算**において、前年度、業者に委託をしていた施設管理について、職員の努力でできるものは一部直営で行うようにして、委託料の節減が図られている。このことについては経費削減の努力が見られる。今後、職員の努力に期



岳の辻園地を調査 (H19.2.5)

いき議会だより マスコットキャラクターが誕生しました！



ミル(見る)ちゃん

何でも自分の目で見てやってみるのが大好きな、明るく活発な性格の女の子。

キク(聞く)ちゃん

疑問に思うことは「どうして?」と何でも聞くのが大好きな、優しくマイペースな性格の女の子。

コウ(言う)くん

しゃべるのが大好きな、その知り少年。また、吉州弁(吉岐の方言)で話すのが特徴。

市民の皆様に愛される議会だよりとなるようがんばりますので応援よろしくお願いします！

一市民のみなさまへ

議会を傍聴してみませんか?
(次の議会は6月上旬の予定です。)

「いき議会だより」を読まれての
ご意見や感想もお待ちしています。
市民の声(※詳しくは15ページをご覧ください)として
いき議会だよりにて紹介させて頂く場合があります。

お知らせ

市議会ホームページ(吉岐市ホームページ)を更新！

5月1日より市議会のページを更新しました。下記の項目について閲覧することができますので、お気軽にご利用下さい。

(吉岐市ホームページアドレス

<http://www.city.iki.nagasaki.jp>)

- 吉岐市議会の概要
- 議員の紹介
- 委員会名簿
- 定例会・臨時会の会議結果(速報)
- 会議録
- 議会だより



議会広報特別委員会
委員長 鶴瀬和博
委員長 今西菊乃
委員 豊坂敏文
委員 市山和幸
委員 深見義輝
委員 町岡光浩

小・中学校の卒業式、入学式に参加する機会があった。私の時と比べれば子ども達の人数は半減しているが、目の輝きは当時と同じように希望に満ちているように感じた。この子ども達の小さい瞳の輝きを消さないようにすることが我々大人の使命であると改めて痛感した。春は別れの春でもあるが、出会いの春でもある。多くの高校生は卒業後、この住み慣れた吉岐を離れて行く。期待と不安の入り交じった旅立ちの瞬間に吉岐は「ふるさと」に変わる。そして吉岐の良き理解者となり、広報マンとなる。吉岐の宝である子ども達が今後出会う人達に「ふるさと」の自慢をできるようにさらに皆さんの英知を結集して「ふるさと」創成に頑張ってください。

編集後記